

鴨川市教育委員会 1 2 月定例会会議録

1 日 時 平成22年12月21日(火) 開会 午後3時00分
閉会 午後4時45分

2 場 所 天津小湊支所2階会議室

3 出席委員 (1) 村上 修平 (2) 佐久間秀子 (3) 佐々木久之
(4) 根本新太郎 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 滝口 悦夫 (3) 熊切 隆夫
(4) 黒野 雅典 (5) 山田 一郎

5 委員報告

- ・根本委員から、鴨川小学校の教育事務所長訪問に関して、特別支援学校分教室との児童生徒交流は難しい点があるが、それを乗り越えて推進していく必要があること、曾呂小学校の教育事務所指導室計画訪問ではよい雰囲気での学習が展開されたが、幼稚園については園児が少なく集団として活動が難しいと考えたことについて、報告がなされた。
- ・佐々木委員から、戦没者追悼式に関して、戦争を知らない市民が増えている中で、中学生が戦争に関する作文を発表したことは意義深いことであったこと、今後中学生に戦争の悲惨さや北方領土問題について考えさせる学習が必要なこと、市民音楽祭では千葉県警察音楽隊だけでなく各団体の発表も素晴らしかったこと、鴨川小学校の教育事務所長訪問では児童が活発に活動していたが、落ち着きのない児童がいて気になったこと、また1年の道徳の学習では命の大切さを学習していたが、母親からの手紙を読み、感動している子が多くいて素晴らしい授業であったことについて、報告がなされた。
- ・佐久間委員から、市民音楽祭に関して千葉県警察音楽隊が素晴らしく、司会者のトークにすがすがしさを感じたこと、また演奏も素晴らしかったこと、田原小学校の教育事務所長訪問では3年生の硬筆が上手であったこと、休憩時間にボール遊びをしていた児童がきちんと挨拶をしてくれたこと、幼稚園では年長と年少の子の活動振りを見て、一年間の成長の大きさに改めて驚きを覚えたこと、曾呂幼稚園の教育事務所指導室計画訪問では、教育目標に掲げている「思いやりのあるやさしい子」の実現には園児があまりにも少ないと感じたことについて、報告がなされた。
- ・村上委員から、戦没者追悼式は厳かな雰囲気の中で行われたこと、今年度から中学生

の作文発表が取り入れられたが中学生には平和の大切さを教えていかなければならないこと、安房東中学校区ミニ集会ではモデルから女優になり南房総市在住の益戸育江さんの講演があり、今の文明について考えさせられたこと、鴨川市総合計画審議会が開催され鴨川市第2次5か年計画の策定について協議がなされたことについて、報告がなされた。

6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、11月は芸術文化、スポーツ関係の催しが目白押しであったこと、第2回市議会臨時会では市職員給与の引き下げに関する議案が可決されたこと、また第4回市議会定例会における教育委員会関係の一般質問では、平松議員から統合中学校の水泳指導に民間施設を使用することについて、滝原議員から総合運動施設の今後の整備、脇坂議員からは統合中学校開校までの取組や学園のまちづくりの推進についてそれぞれ質問があったこと、連携型の小中一貫教育を進めている船橋市立若松小学校と若松中学校の公開研究会に参加したこと、長狭学園PTAが平成22年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞したことで市長、教育長への報告があったこと、鴨川市商工会女性部が手作り絵本「子供たちに伝えたい鴨川の歴史シリーズ①『日蓮上人』」を作成し、同絵本3冊を市立図書館に寄贈してくださったこと、野球指導者講習会では中学校野球部やスポーツ少年団の指導者が千葉ロッテマリーンズの高澤秀昭氏、園川一美氏より講義と実技指導を受けたことについて、報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・質疑なく、全員の了解が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「鴨川市立幼稚園管理規則による休園措置について」

- ・滝口学校教育課長から、鴨川市立幼稚園管理規則第19条2項に規定された「園児数が6人に満たない園は、休園措置をとることができる」ことの具体的な取り扱いに関して協議を求めることについて説明がなされた。
- ・村上委員から、同規定は必ずしも休園措置をしなければならないことを定めたものではなく、「できる規定」であり運営上の措置であるとの意見が出された。
- ・根本委員から、この規定については園児募集の際に保護者に周知する必要があるとの意見が出された。

- ・村上委員から、大山幼稚園が休園措置をとった際の事前説明に関する質問があり、長谷川教育長より預かり保育の実施方法等を含め事前に保護者に伝えたとの説明がなされた。
 - ・村上委員から、来年度については複数の入園希望があった園では、休園措置をとらないことがよいとの意見が出された。
 - ・佐々木委員から、国で検討を進めている「こども園構想」の動向を踏まえながら検討していく必要があるとの意見が出された。
 - ・村上委員から、現在の状況では園児の少ない園が生じるであろうが、鴨川市第2次5か年計画の中で幼保一元化とあわせて検討していく必要があるとの意見が出された。
 - ・佐久間委員から、鬼ごっこなど十分にできる園児数を確保することが体力づくりや仲間関係づくりに必要なことから、6名未満なら休園措置も止むを得ないとの意見が出された。
 - ・長谷川教育長から、預かり保育を実施している園に入園希望が多いことから、幼保一元化をさらに進めていく必要があり、現在の状況では6人未満の園における休園措置については柔軟に対応していく必要があるとの意見が出された。
- ・議案第1号については、次回会議で来年度の入園募集結果を踏まえて協議していくこととなった。

8 その他

- (1) 福田教育次長から、平成22年度教友会実施計画について、資料をもとに説明がなされた。
- (2) 黒野生涯学習課長から、市立図書館開設20周年記念事業として図書館のあゆみや市内に伝わる昔話を収録した「鴨川のむかし話」を刊行し、市内の小中学校にも配付したとの報告がなされた。また、「オーシャンズ、若潮明社」主催による家庭教育講演会が保育園、幼稚園、小学生の保護者に呼びかけ開催されることについて説明がなされた。
- (3) 滝口学校教育課長から、統合中学校の現場見学会を来年度入学する小学校6年児童を対象に実施したこと、2月20日には保護者等を対象に同様の現場見学会を実施する予定であることについて説明がなされた。
- (4) 福田教育次長から、教育委員が出席する2月以降の主な行事、「平成23年度幼

稚園ガイド」の発行、「第12回シンポジウム安房日本のこころ」の開催について、資料をもとに説明がなされた。

(5) 各課長から、資料をもとに1月の行事予定についての説明がなされた。また、滝口学校教育課長から、1月の定例教育委員会会議について説明がなされ、1月24日(月)に開催することになった。

(6) 佐久間委員から、市立図書館の「おひざにだっこ」には入りきれないほどの乳幼児と保護者が参加し盛況であること、「おはなし広場」に参加した多くの人が本をよく借りていく様子が見られることについて、報告がなされた。

村上委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成23年1月21日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 福田典白